



概要

改訂 : October 8, 2008, OL-14522-01-J

章の構成

ここでは、このマニュアルの構成の概要を説明します。

第1章「概要」(この章)

- このマニュアルの章の構成と内容について説明します。
- 窓がある設置場所および窓がない設置場所への CTS-500 の設置ガイドラインについて説明します。
- CTS-500 の設置に必要な工具リストを示します。

第2章「台座スタンド取り付け式 CTS-500 の組み立て」

- 台座スタンド取り付け構造の CTS-500 を組み立てる手順について説明します。



(注) 台座スタンドは床に設置します。

第3章「壁面取り付け式 CTS-500 の組み立て」

- 壁面取り付け構造の CTS-500 を組み立てる手順について説明します。

第4章「テーブルスタンド取り付け式 CTS-500 の組み立て」

- テーブルスタンド取り付け構造の CTS-500 を組み立てる手順について説明します。

第5章「初期設定」

- 初めて CTS-500 を設定するために実行する設定について説明します。

第6章「使用上の注意」

- ディスプレイ画面のクリーニング手順について説明します。

第7章「現場交換可能なユニット」

- CTS-500 のさまざまなハードウェア構成要素の取り外しおよび交換について説明します。

CTS-500 の設置場所の選択

CTS-500 の物理的な設置場所を選択する場合、次のことを考慮します。

- 画面から 1.2 ～ 1.8 メートル (4 ～ 6 フィート) 離れた位置にユーザが着席するように、CTS-500 の位置を選択する。
- 選択した空間に CTS-500 が設置できることを確認する。CTS-500 の高さや幅の物理寸法を確認するには、付録 A 「Cisco TelePresence System 500 の高さ、幅、および重量仕様」を参照してください。
- Cisco TelePresence システムが正しく機能するためには、最適な照明条件が不可欠である。むら、グレア、ホットスポット、色あせ、反射などの視覚上の問題があるため、外部からの光は推奨しません。これらの理由から、窓がない部屋または窓が少ない部屋を選択する必要があります。

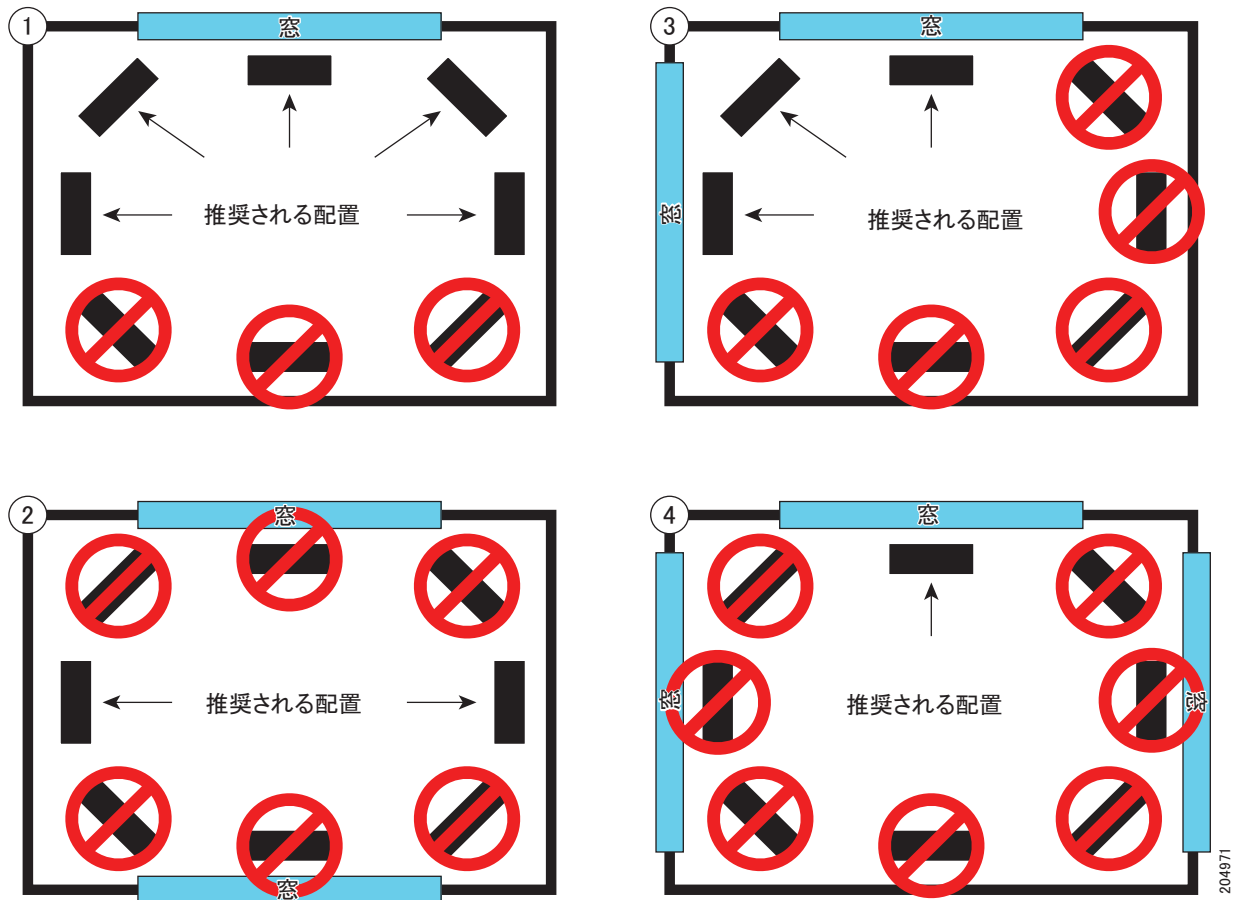
設置場所に複数の窓がある場合は、ブラインドや厚手のカーテンで外部からの光をすべて遮断するようにします。外部のすべての光源を遮断できない場合は、室内の窓の位置に基づいて CTS-500 を配置します。コール中に光を 100% 遮断できる場合以外は、システムの使用時にユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。

次の表を使用して、物理的な場所での CTS-500 の配置を決めます。さまざまな室内構造での CTS-500 システムの推奨される配置については、表 1-1 および図 1-1 を参照してください。

表 1-1 窓がある場所での CTS-500 の設置ガイドライン

物理的な室内構造	推奨される設置場所
窓がない、または外部からの光がすべて覆われるか遮断される	室内の任意の場所にシステムを配置します。
窓が 1 つ	ユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。
向かい合せの 2 つの窓	ユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。
隣接する 2 つの窓 (オフィスが角部屋)	ユーザの背後に窓が存在しないようにシステムを配置します。
三方に窓がある	推奨される配置は 1 つだけです。
四方に窓がある	このような室内構造は使用しないことを推奨します。この室内構造を使用する場合、コール中は窓の 1 つを完全に覆って、三方に窓がある室内構造と同じにします。

図 1-1 窓がある部屋での CTS-500 の推奨される配置



- 設置したら、ユーザの目の高さが画面の垂直方向で、全高の 70 パーセントの位置になるように、システムの高さを調整します。目の高さに合わせるにより、Cisco TelePresence を正しく使用できます。

システムを設置する前に目の高さを確認することは、壁面取り付け式システムでは特に重要です。壁面に設置した後では、ディスプレイの垂直の高さを調整できないためです。第 3 章「壁面取り付け式 CTS-500 の組み立て」の図 3-1 および図 3-2 を参照して、壁面取り付けの高さを決めます。

表記法と用語

- このマニュアルでの左および右の方向は、会議参加者から見た左および会議参加者から見た右と同義です。これらの方向は、ディスプレイに正対して組み立てを行う場合を指します。
- コーデックへのケーブル接続は、色分け記号方式でラベル表示されています。
 - 1つの点を持つ緑色のラベルは、中央の構成要素を示します。



(注) 中央の構成要素は、CTS-500 の設置に使用しないでください。

- 3つの点を持つ赤色のラベルは、右の構成要素を示します。
- 2つの点を持つ白色のラベルは、左の構成要素を示します。

図 1-2 ケーブル接続のラベル表示方式



工具と機器のリスト

すべてのタイプの CTS-500 設置で、#2 プラス ドライバが必要です。

台座スタンド取り付け式 CTS-500 には、次の工具が必要です。

- 3/16 インチのアレン ドライバ（レンチとビットは台座スタンドキットに付属）
- 3 mm のアレン レンチ（台座スタンドキットに付属）

壁面取り付けの場合、または台座スタンドを壁面に取り付ける場合、次の工具が必要です。

- スタッドファインダ、または壁面のスタッドを探知するその他の道具
- 次のドリルビットを備えたドリル
 - 1/2 インチ（13 mm）ビット：設置場所に金属製スタッドがある場合、このビットで金属に穴を開けられることが必要です。
 - 1/8 インチ（3 mm）ビット：このビットが必要なのは、設置場所に木製スタッドがある場合だけです。

CTS-500 システムの初期設定を行うには、次の工具と機器が必要です。

- 小さいカメラ ターゲット
- 大きいカメラ ターゲット
- 大きいカメラ ターゲットのイーゼル
- 厚紙のルーラ



(注) 厚紙のルーラの代わりに、巻き尺などの測定道具を使用することもできます。

初期設定に必要な工具は、カートン 7（CTS-CAM-TOOL-G2）に入っています。